

特集

地域の足を守る！ 佐世保の公共交通 いま・これから

公共交通は「移動手段」というだけでなく、地域の暮らしを支える「インフラ」の一つです。

公共交通を維持していくためには、市民の皆さんによる「利用」が何よりの支えとなります。

今回の特集では、本市の公共交通を取り巻く現状や課題を解消するために実施している取り組み、ことし3月に策定した「地域公共交通計画」および「地域公共交通利便増進実施計画」から今後の取り組みについてお知らせします。



地域公共交通の現状

本市では、鉄道や航路による公共交通は一定確保されていますが、特に、周辺部の居住地を運行する乗合バス事業については、利用者の減少や運転士不足などによって、これまでどおりの路線や便数を維持することが難しくなっています。

利用者の減少

人口減少によって、バスの利用者が減少している。

運転士不足

運転士の労働環境や、利用者の減少による収益の悪化などが要因となり、運転士が不足している。

バスの減便・路線廃止

運転士不足によって、路線の維持が困難になり、バスの減便や路線の廃止につながっている。

交通不便地区の増加

バスの減便や路線廃止によって、新たな交通不便地区が増加している。

交通不便地区への対策（現在の取り組み）

バス路線が行き届かない交通不便地区の対策として、バス事業者やタクシー事業者と協力し、コミュニティバス、予約制乗合タクシー（デマンドタクシー）などの運行を実施しています。買い物や通院などの移動手段としてぜひご利用ください。



市 HP
（交通不便地区対策）

路線定期運行型 コミュニティバス「まめバス」



- 道路が狭く路線バスが運行できない大野エリアを対象に、定時・定路線で運行するコミュニティバス

路線定期運行型 乗合タクシー「ふれあい号」



- 中通・横尾・梅田・保立二組の町内会区域を定時・定路線で運行する予約不要の乗合タクシー

路線定期運行型 乗合タクシー「すずかけ」



- 日宇町、大和町内を移動する定時・定路線で運行する予約不要の乗合タクシー

予約制乗合タクシー （デマンドタクシー）



- 自宅と地区内に設定した停留所間を運行する事前予約が必要な乗合タクシー
【対象地区】世知原、三川内、小佐々・浅子、柚木、江迎、吉井、黒髪、烏帽子、弓張、宮、針尾、中里皆瀬

予約制乗合タクシー（デマンドタクシー）の取り組み

予約制乗合タクシー（デマンドタクシー）とは、運行地区内の自宅と設定した停留所間を利用者の予約に応じて運行する制度です。佐世保市では、交通不便地区への対策として平成25年から世知原地区で本格運行が始まりました。ことし4月からは新たに5地区での運行が開始され、今回はその中の1つ、宮地区での取り組みについてお話を伺いました。



宮地区自治協議会

会長
しょうぎき
正崎 隆弘 さん

地域の皆さんからも「バスがなくなったら不便になるので乗合タクシーがあったら助かります」という意見が多く寄せられていました。

停留所は路線廃止で困る人のことを考えながら設定

停留所の場所は市と相談して決めました。もともとバス停があった場所に加えて、病院や郵便局、ハウステンボス駅も停留所として決定しました。バス路線が廃止されて困る人のことを考えながら決めていった結果、高齢者など車を使わない世代に配慮した設定となりました。

より使いやすい乗合タクシーになるように

地区としては、乗合タクシーによる支援が受けられていることについて感謝しています。この取り組みが地区に広まっていけばいいなと思っています。

ただ、宮地区での運行はまだ始まったばかりです。より使いやすい乗合タクシーになるよう、今後も地域の皆さんの要望などを聞きながら、見直しを行っていきたいと考えています。

(取材日 5月9日)

運転士さんの話を動画でプラス



全国的にも問題となっている、バスの運転士と整備士の人手不足。佐世保も例外ではありません。

今回の広報させぼバスでは、「させぼバス」と「西肥バス」で伺ったバスの運転士の現状や魅力を動画で紹介します。



YouTube「佐世保市チャンネル」
広報させぽプラス

地域公共交通計画

「地域公共交通計画」とは、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする地域公共交通のマスタープランです。

本計画は、本市の地域公共交通機能を確保するため、市民、行政、交通事業者など地域公共交通の関係者が合意した考え方で構成されており、基本方針に基づき、さまざまな取り組みを行います。



市 HP
(地域公共交通計画)

【基本方針】

- 地域との共創を踏まえた持続可能な公共交通ネットワークの構築
- 需給や交通モード（手段）のバランスを踏まえた全体最適化

これからの主な取り組み

● バス運行の見直し

現在のバス運行は北部エリアから南部エリアを縦断する長距離便が多く走っています。運転士不足の原因となっている長時間労働の削減や重複した運行の解消など、一部の路線について運用形態の段階的な見直しを行います。

(主な見直し)

- ・大野、早岐で長距離運行を分割する運行計画
- ・乗り継ぎ割り引きサービス など

● 公共ライドシェア

バスやタクシーの移動手段が十分に確保できない地域で、自治体やNPO 等が運行主体となり、地域住民などがドライバーとして有償で送迎を行う、地域内の「生活の足」の確保を目的とした制度です。

令和 8 年度以降の本格運行を見据え、本年度は、国土交通省の補助金を活用し黒島で実証運行を行う予定です。

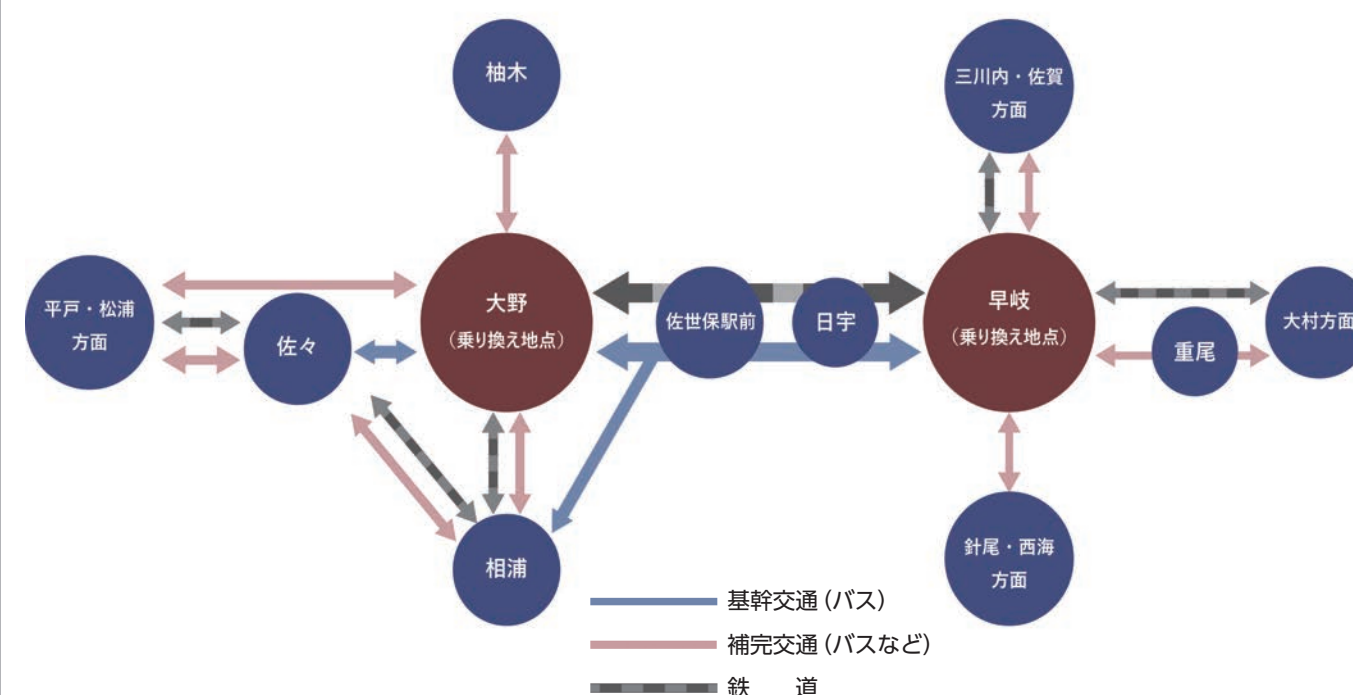
● 利用者の利便性向上・利用促進

バスの現在位置情報や運行状況、運賃、時刻など路線バスの運行に関する情報を配信するサービス（西肥バスナビ）の普及や、車いす・ベビーカーでの乗車がしやすい低床バスの導入、乗り降りしやすいバス停の整備など、利用者の利便性向上や利用促進を図る取り組みを進めていきます。



西肥バスナビ

再編後のバス運行のイメージ



特集に関する問い合わせ 地域交通課 ☎ 24-1111